

包括マネジメント②

— 人と作業と環境の考え方 —

包括マネジメントプログラムの立案について

本講義の流れ

I 包括マネジメントプログラムの 立案について

～実践事例による活用方法の紹介～

II 演習：グループワーク

初回評価

生活状況確認表

作業聞き取りシート

興味・関心チェックリスト

作業遂行アセスメント表

作業遂行向上プラン表

作業することで元気になる申し送り表

生活状況確認表

入院患者に対し、作業療法開始時に使用。

これから行う包括マネジメントプログラムにおいて、本人が望むもとの生活についての聞き取りを行う。

この聞き取り結果を参考にプログラムの立案を行う。

生活状況確認表

1) 記入者

本人またはスタッフが聞き取り

本人が回答困難な場合は家族から聞き取り

2) 方法

入院する前の生活について、一般健康状態、身辺処理動作、IADL・趣味・社会参加の各項目について問題があったか、なかったかを記入。

課題があった場合には、どのような状態であったのかを詳しく記入する。

作業聞き取りシート

患者および高齢者が生活するうえで意味のある作業を明らかにする。

1) 記入者

本人またはスタッフが聞き取りながら
記入

作業聞き取りシート

2) 方法

- ① 本人が重要であると思う生活の目標を1～3つ聞き取る。

<聞き取り方>

「あなたが困っている、または問題を感じている（もっとうまくできるようになりた、あるいは、うまくできるようになる必要性があると思う）事柄で、良くなりたい、改善してみたいと思う事柄があれば3つほど教えてください。」

作業聞き取りシート

② ①で聞き取った各目標ごとに現在の作業が

- ・どの程度実行できているのか（実行度）
- ・その実行に対してどの程度満足できているのか（満足度）

をそれぞれ10点満点で自己評価する。

とてもうまくできている、満足している場合：10点
まったくできない、不満である場合：1点

- ・作業目標の達成可能性の有無についても自己評価を行う。

実践紹介

本プログラムは
平成20年度に2か所
平成21年度に12か所の
通所リハビリテーション事業所の協
力を
得て活用

実践事例紹介

64歳 女性

① 作業聞き取りシート

目標 1

「料理をしてみたい」

実行度 1/10 満足度 1/10
達成の可能性 有

作業聞き取りシートの記事について

目標とする作業項目

趣味・社会参加 38種類

IADL 30種類

基本的ADL 15種類

高齢者は様々な作業を目標として実施したいと考えていることが分かった。

興味・関心チェックリスト

作業聞き取りシートによる目標を設定する際に、高齢者が生活の目標を述べることができない場合に使用。

1) 記入者

本人またはスタッフが聞き取りながら
記入

興味・関心チェックリスト

2)方法

- ① 本人が好きな趣味・役割またはしたいと
思っていることを「興味・関心チェックリス
ト」の各項目について聞き取りチェックする。
- ② チェックがあった項目について、いつ、ど
こで、誰と、どんな風に、どの程度「してい
るのか」「してみたいのか」を確認。興味があ
ると答えた場合は、どのように興味がある
のか、どのような条件であれば実施するの
かを確認する。

興味・関心チェックリスト

- ③ 回答があった項目をもとに
「作業聞き取りシート」の目標を相談の
うえ決定。
実行度、満足度、達成の有無を記入する。

作業遂行アセスメント表

作業聞き取りシートにて聞き取った作業
目標から

その作業目標の遂行を困難にしている

「要因」 「現状の能力」 「予後予測」

を行い

本人が達成可能なニーズ

(達成できる目標としたい) となる作業
を決定。

作業遂行アセスメント表

- 1) 記入者
作業療法士

- 2) 方法
 - ① 作業目標の遂行を困難にしている要因を検討。
抽出した要因を
「心身機能」「活動と参加」「環境因子」
に分類し記入。

作業遂行アセスメント表

- ② ①を参考に、作業目標遂行のための
現状能力、予後予測を検討
「心身機能」「活動と参加」「環境因子」
に分類し記入。
- ③ ②の検討結果から本人が達成できる作業
の水準を見極め
「達成可能なニーズ
(達成できる目標としたい作業)」
を記述。

作業遂行向上プラン表

4) のアセスメント表にて見極め「達成可能なニーズ」とした作業について、その作業を実践するために必要となる力「企画・準備力 (PLAN)」「実行力 (DO)」「検証・完了力 (SEE)」について本人の現状能力を検討。困難な点について具体的プログラムと実施方法を決定。このプラン表をもとに支援を実践する。

作業遂行向上プラン表

「企画・準備力（PLAN）」

いつ，どこで，誰と，何を，どのようにすれば生活目標が達成できるか本人が主体的に考え，検討できる能力および企画したことを実行に移すために，具体的な準備を自ら行うことのできる能力。

具体的には生活意欲が高まるよう生活目標を意識できる，実施に当たり具体的な生活目標を検討できる能力をさす。

作業遂行向上プラン表

「実行力(D0)」

生活目標を達成するプロセスとして実際に行なわれる一連の作業活動を遂行する能力をいう。基礎的動作の反復や意味のある作業体験等が含まれる。

作業遂行向上プラン表

「検証・完了力（SEE）」

実行するためにどのような配慮や注意点が必要だったかを含め、達成に必要な条件を自ら検証する。検証の結果、達成の可否について評価し、その結果を基に今後の筋道を立て、次の企画につなぐことのできる能力をさす。

作業遂行向上プラン表

- 1) 記入者
作業療法士
 - 2) 方法
- ① 達成可能なニーズとして挙げた作業を実践するために必要な「企画・準備力 (PLAN)」「実行力 (DO)」「検証・完了力 (SEE)」の現状能力について4段階で評価する。
- 1：一人で可能
 - 2：手掛かりや見本があれば可能
 - 3：練習により可能
 - 4：手助けが必要

作業遂行向上プラン表

- ② ①において「1：一人で可能」以外の評価の各力を達成するための方法、プログラムを検討し、記述。
誰がいつどのように、いつまでに行うのかといった方法を決定する。
- ③ ②で決定した内容をプログラムとして実践し、経過を記録する。

作業することで元気になる申し送り表

本人の状態について他機関に申し送る際に利用。
作業遂行を行ううえでの課題とその要因、改善できる内容を示したうえで、現状についてまとめ関連スタッフと共有する。

申し送り表の作成は、包括マネジメントプログラム立案時の情報共有や他職種への支援を求める場合、プラン実施後の情報共有や他職種のフォローが必要な場合に行い活用。

作業することで元気になる申し送り表

1) 記入者

作業療法士（本人と確認しながら記入）

2) 方法

①元気な時の生活状況

「生活状況確認表」や本人、家族からの情報を基に元気なときの生活状況について記述。

作業することで元気になる申し送り表

② 今回のアクシデント

今回、作業療法介入に至った要因について
チェックする。

③ 現在の生活状況

現状の生活状況について記述する。プラン
ン実
施後（たとえば通所リハビリテーション
の利
用終了時）の情報伝達に使用する場合は、

作業することで元気になる申し送り表

④不安・心配なこと

在宅生活や今後の生活を送るうえで、
本人が

感じている不安、心配について記述する。

⑤ご本人のしたい・できるようになりたいこと

本人が感じている、やりたい、できるように

なりたいことを記述する。

(社)日本作業療法協会

⑥現在の状態をもたらしている基本原因

作業することで元気になる申し送り表

⑦改善・活用できる項目

⑥の現在の状態をもたらしている基本原因に

ついて、⑤の本人がしたい、できるようにな

りたいことを実現するために改善できる項目

や、活用できる環境、支援について記述する。

⑧アセスメントまとめ

（社）日本作業療法協会

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

プログラム実施後

包括マネジメント立案によるプログラムを行った後、目標とした期間(3か月程度)の本人の状態について結果を記述する。

作業聞き取りシート

作業遂行向上プラン表

作業聞き取りシート

1) 記入者

本人またはスタッフが聞き取りながら
記入

2) 方法

プログラム実施後に実行度と満足度を
10点満点で自己評価する。

作業遂行向上プラン表

達成可能なニーズとして挙げた作業遂行に

必要な各力（企画・準備力、実行力、検証・完了力）のプログラム実施後の能力について

4段階で評価する。

1：一人で可能

2：手掛かりや見本があれば可能

3：練習により可能

4：手助けが必要

作業遂行向上プラン表

また、作業獲得状況について次のいずれであったかを記述し、実践結果の評価とする。

「達成」：達成可能なニーズとして挙げた作業が実施できるようになった場合。

「変更達成」：達成可能なニーズとして挙げた作業レベルではなく、プログラム実践において環境や条件などを変更して達成できるようになった場合。

「未達成」：達成可能なニーズとして挙げた作業が達成できなかった場合。

「中止」：途中何らかの事情により中止した場合。

※「変更達成」～「中止」はその理由を記述する。

各シートを用いて実践

・作業聞き取りシート

* 2人1組で、目標とする作業について聞き取りをしてください。

* 聞かれている人は自分自身について考え、回答してください。

事例をもとに各シートを用いて実践

包括マネジメントプログラム

- 生活状況確認表
- 作業聞き取りシート
- 作業遂行アセスメント表
- 作業遂行向上プラン表

事例紹介

69歳 女性 ●● ●●さん

半年前に脳梗塞発症。入院時に理学療法、作業療法施行し退院。

自宅での役割の向上、心身機能の向上を目的に通所リハを週2回利用している。

現在は、歩行練習と机上作業を実施している。

集団での創作活動などで片手でできる作業は

器用にこなしている。

事例をもとに各シートを用いて実践

包括マネジメントプログラム

- ・生活状況確認表

* シートに回答結果をチェック、記入してください。

- ・作業聞き取りシート

* 作業聞き取りシートに聞き取り結果を記入

- ・作業遂行アセスメント表

- ・作業遂行向上プラン表

事例をもとに各シートを用いて実践

包括マネジメントプログラム

- ・生活状況確認表

* シートに回答結果をチェック、記入してください。

- ・作業聞き取りシート

* 作業聞き取りシートの聞き取り結果を記入

- ・作業遂行アセスメント表

- ・作業遂行向上プラン表

事例をもとに各シートを用いて実践

包括マネジメントプログラム

- ・生活状況確認表

* シートに回答結果をチェック、記入してください。

- ・作業聞き取りシート

* 作業聞き取りシートの聞き取り結果を記入

- ・作業遂行アセスメント表

- ・作業遂行向上プラン表

回答例